

21歳の時に結婚し、高知市大津から十市へきました。その頃はまだ家まで自動車の通れる道がなく、近くで車を降りてから花嫁行列で家まで歩いて行きました。今ではあまり見られなくなった光景ですね。

大津には山がなかったもので、十市へきて初めて木に登ってヤマモモを収穫したことはいい思い出です。結婚して



のどかに暮らしています！

い ちよ
土居 千代さん
(十市)

に
こ
こ
に
ラ
イ
フ
184



毎日の炊事は大変ですねと伝えると「今は電気のスイッチ入れたらいいから簡単(笑)」とのこと。時々それも面倒とか思ってた自分に反省です…継続は力なり。

1年も経たないうちに夫が戦争へ行ってしまいました。怪我はしていましたが、終戦後に無事に帰ってきてよかったです。子育てが一段落してからは、毎年稲の収穫が終わった後、夫や友人たちと一緒に旅行へ出かけました。南は沖縄から北は北海道まで行きました。が、今と違って旅行には着物などの晴着を着て行ってたんですよ！

5、6年前までは自転車に乗って習い事に行ったり、買い物に行ったりしていました。最近では自転車に乗れなくなり、孫が買い物してくれてくれるので助かっています。

今住んでいる家は、昭和28年に義父が裏山の木を切って建ててくれたものです。今は子どもたちも独立し、夫も亡くなったので一人で暮らしています。時々近所の人と家の土間で世間話をするので、一人でのんびりと、のどかな毎日を過ごしています(笑)

親子クイズ 522

ラグビーワールドカップ2015で、世界ランキング3位の南アフリカ代表を破るという大金星を挙げた、日本代表に関する問題です。

- ① 主将は誰でしょう？
- ② 逆転の決勝トライを決めた選手は誰でしょう？
- ③ 次回、2019年開催予定の国はどこでしょう？

【第521回解答】

- ① 山彦 (やまびこ) 麻岡 文代 (緑ヶ丘)
- ② 一反木綿 (いったんもめん) 片山 レナ (大浦乙)
- ③ 河童 (かっぱ) 島崎 圭子 (大浦甲)
- ④ 油すまし (あぶらすまし) 高田 康子 (篠原)
- ⑤ 座敷童子 (ざしきわらし) 森 裕介 (岡豊町)

【第521回当選者】

■応募締切／11月16日(月)必着
■あて先／〒783-8501
南国市大浦甲2301
南国市企画課「親子クイズ」係
*はがきで応募
■賞品／正解者の中から抽選で、5名に図書カード(1,000円)を贈呈

★応募総数／28通 ★正解率／61%

親子クイズは、広報委員が毎月順番に考えています。

市民からのお便り

(親子クイズ)うちの子供達も「おかあさんといっしょ」の「ようかいじりとり」や、妖怪ウォッチのキャラクターが大好きです。

57 人権学習シリーズ

学校などでよく聞く「保護者」という言葉ですが、これを私は「父兄」と言ってしまうことが多いので気を付けています。

私が小学生の頃、学校では「父兄」と表現し、参観日も「父兄参観日」と呼んでいました。しかし、実際はほとんど母親が参観日に来ていて、子どもながらに「参観日は母親が来るもの」と思っていたように記憶しています。「父兄」は昔の戸主が家を統率し、家の継承者が長男であった頃の家族形態によるものであり、現在の家族形態にそぐわないものとなっています。が、幼少の頃に耳にした言葉はつい口にしてしまうので、後になって反省しています。

このように時代の変化により呼び方が変わっているものが他にもあります。例えば、職種では「看護婦」が「看護師」に、「保健婦」が「保健師」に、「保母」は「保育士」に、などです。以前は職種によって女性の仕事や男性の仕事といった概念があったと思いますが、1985年の男女雇用機会均等法や1999年の男女共同参画社会基本法の制定が契機となり、男女が対等に活躍するため、名称も変わってきたものです。

「相手を気遣う言葉」

また、夫婦の関係で呼ぶとき、女性性は「妻」「嫁」「奥さん」「家内」「かみさん」「女房」など、男性は「夫」「主人」「旦那」「亭主」など多くの呼び方があります。しかし、辞書を見ると、「嫁」は息子の妻、「奥さん」は他人の妻、「主人」は家の長や自分の仕える人などの解釈もあり、本来の関係を考えると違和感を覚えます。このため、「夫」「妻」と呼ぶのが良いように思います。ですが、皆さんはどう思いますか。普段私たちは、本来の意味や言葉の持つイメージなどを余り意識することなく使うことがあります。人によってとらえ方は様々で、気にならない人もいます。しかし、誰かが違和感を持ったり嫌な思いをすることの無いように、相手を気遣い、適した言葉を使っていきたいと思います。

※このシリーズは、あなたとあなたの周りにいる人の間に温かなつながりが生まれることを願い、人権について考えるきっかけになることを目的としています。

■問い合わせ
人権啓発広報委員会
☎880・6569

なんこく歴史散歩 第36回

岡豊城跡の北麓には多くの五輪塔が立ち並ぶ場所があります。ここは長宗我部氏一族の墓と伝わっており、長宗我部氏の祖秦能俊以後20余代が眠っているとされます。墓所は土地の人により手入れがさされており、谷の奥で木々に囲まれて静かに時を刻んでいます。



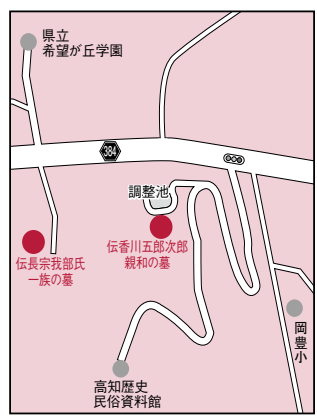
伝長宗我部氏一族の墓

長宗我部家ゆかりの墓

元親の次男でありながら不遇の生涯であったとされる親和ですが、現在の墓所はきれいに保たれ、降り注ぐ日差しを浴びて岡豊城の移り変わりを見守っています。



伝香川五郎次郎親和の墓



問い合わせ
生涯学習課文化財係
☎880・6569

市民からのお便り

(親子クイズ)久しぶりにゲゲゲの鬼太郎を思い出しました。